



第 30 回群馬現代史研究会

「戦後 80 年と群馬現代史研究会の歩み」



日 時：2025 年 3 月 1 日（土） 13：00～16：30 開場 12：30

〔研究会〕13：00～15：30

〔懇談会〕15：45～16：30

場 所：共愛学園前橋国際大学 5 号館 Kyoai Community Hall

参加費：無料

対 象：一般（参加にあたり特に条件等はございません）

内 容： 2025 年は戦後 80 年という節目の年にあたります。群馬現代史研究会ではこの機会を捉え、「戦後 80 年と群馬現代史研究会の歩み」と題してシンポジウムを開催致します。戦争のない社会をいかに築くか。その答えを得るには徹底した歴史分析が欠かせません。すなわち、私たちの社会は過去において、なぜ、どうして戦争に突入してしまったのか。それを止めることは出来なかったのか。敗戦という経験を経て、私たちはこれまでいかに歩んできたのか等、本シンポジウムではこれらの問いに対し、群馬という地域文脈から考えます。



○パネリスト○

岩根 承成（いわね つぐなり）

1941 年生まれ、群馬県前橋市出身、早稲田大学第一文学部史学科日本史専攻卒。群馬県立高校教諭、群馬大学講師、共愛学園前橋国際大学講師を歴任し、現在群馬県立県民健康科学大学にて歴史学講師を務める。群馬県歴史教育者協議会会長。著書に『群馬事件の構造－上毛の自由民権運動』（単著）、『戦争と群馬－古代～近代の戦場と民衆』（編著）など。

宮崎 俊弥（みやざき としや）

1946 年生まれ、群馬県中之条町出身。東京教育大学大学院修了。県内の高校教員、県史編さん室・県立文書館職員などを経て、1999～2013 年共愛学園前橋国際大学に勤務。現在、同大学名誉教授、桐生文化史談会会長。群馬県近現代史を専攻。著書に『群馬県史 通史編 8・産業経済』（共著）、『群馬県農業史 上・下』（単著）など。

井坂 優斗（いさか ゆうと）

1993 年生まれ、茨城県小美玉市出身。信州大学人文学部（近現代史専攻）卒。現在、館林市史編さんセンターに勤務。「館林市史」の編集・執筆等を行う。群馬史料ネット運営委員等でも活動し、桐生市史近現代部会・伊勢崎市史近現代部会ではそれぞれ調査員をつとめる。専門は文化史、災害史など。

○基調講演○

大沼 久夫（おおぬま ひさお）

1950 年生まれ、茨城県日立市出身。法政大学大学院博士課程（政治学専攻）単位取得修了。群馬大学非常勤講師を経て、1988 年 共愛学園女子短期大学助教授に着任。その後、共愛学園前橋国際大学教授となる。現在、同大学名誉教授。群馬現代史研究会運営委員前代表。研究分野は「日本現代史」「朝鮮半島現代史」「冷戦史」、大学勤務時の担当科目は「国際関係論」「日本現代史」「朝鮮半島現代史」など。現在は「戦後日本と朝鮮半島現代史」「松川事件再検討」「昭和史論争再考」などをテーマに研究。著書に『朝鮮半島の歴史』（単著）、『朝鮮戦争と日本』（編著）など。

お申込み方法

Google フォーム、E メール、お電話、FAX、ハガキいずれかの方法で **2 月 25 日（火）必着**でお申し込みください。

お知らせいただく内容：①「群馬現代史研究会参加」の旨、②受講者ご氏名、③ご住所、④お電話番号、⑤メールアドレスをお知らせください。

Google フォームの場合：右記 QR コードより必要事項をご入力の上、送信下さい。

※お申込み受付後、メールまたは郵送にて 1 週間を目途にお返事いたします。返事がない場合はお手数ですがご連絡ください。

▼申込フォーム



【お問い合わせ・お申込み先】

〒379-2192 群馬県前橋市小屋原町 1154-4

共愛学園前橋国際学 地域共生研究センター 「群馬現代史研究会」係

TEL：027-266-9060 FAX：027-266-7576 Email：kyosei-chiiki@c.kyoai.ac.jp

